

(様式 1-3)

白河市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

令和 2 年 3 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	7	事業名	市営住宅解体事業（葉ノ木平）	事業番号	◆D-4-1-2
交付団体		白河市	事業実施主体（直接/間接）	白河市（直接）	
総交付対象事業費		21,000（千円）	全体事業費	18,832（千円）	
事業概要					
<p>葉ノ木平地区は、東日本大震災による地すべりにより死者 13 名、住宅の滅失 13 戸の甚大な被害が生じた地域である。</p> <p>更に、地区内にある葉ノ木平市営住宅においても建物に著しい被害が生じるなど、葉ノ木平地区全体で 126 あった世帯のうち 21 世帯が現在も応急仮設住宅等での生活を余儀なくされている。</p> <p>市内で最も被害が甚大であった同地区の復興を推進するためには、被災者がこの地域に戻るよう、安全・安心かつ従来の地域コミュニティを維持・継続できる環境整備を図ることが重要であることから、本地区に災害公営住宅を整備し被災者の生活再建を支援するため、計画地に建つ老朽化した葉ノ木平市営住宅を解体整備する。</p> <p>〔災害公営住宅〕</p> <ul style="list-style-type: none">・住宅を失った葉ノ木平地区住民や市内全域を対象とした被災者、避難者へ提供する住宅。 <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none">○市営住宅解体事業○地 区 名：白河市葉ノ木平地内○事業内容：既存市営住宅解体（木造平屋、14 棟 25 戸用） <p>【白河市震災復興計画における位置づけ】</p> <ul style="list-style-type: none">○第 4 章『基本理念 1 安心で安全な暮らしの確保』（P16）○第 6 章『基本目標 2 市民生活の再建』『主要施策 2-2 住宅の再建・確保』（P31） <p>（事業間流用による経費の変更）（令和 2 年 1 月 10 日）</p> <p>事業完了により事業費の一部を、D-5-2 災害公営住宅家賃低廉化事業（6 年目～）へ 2,168 千円（国費：H25 予算 1,735 千円）を流用。これにより、流用後交付対象事業費は 18,832 千円（国費：15,065 千円）に減額</p>					
当面の事業概要					
<平成 25 年度> 市営住宅解体					
東日本大震災の被害との関係					
<p>東日本大震災により、葉ノ木平地区付近の山地斜面で発生した大規模な地すべり（長さ：約 120m、幅：約 130m、土量：約 75,000 m³）は、死者 13 名、家屋全壊 10 棟 13 戸の甚大な被害をもたらした。これは、津波被害を除き県内最大の人的被害である。</p> <p>また、市内の住宅被害は、滅失されたと解される全壊住宅 238 棟、半壊住宅 1,769 棟におよび、応急仮設住宅など一時提供住宅には 680 世帯 1,700 名となっている。この内、葉ノ木平地区においては、建物 110 棟の内約 36%に当たる 40 棟が半壊以上の被害が生じ住宅建設の要請もある。</p> <p>この様なことから、被災者の生活再建を果たすため、恒久的な住宅を提供する災害公営住宅の整備が必要である。</p>					
関連する災害復旧事業の概要					
<p>○公共土木施設災害（白河市：道路）</p> <p>南町小田川 2 号線 L=349m、C=9,711 千円、表層工 A=1,059 m² 外</p> <p>○都市災害復旧事業（白河市）L=300m、C=60,690 千円、排土：V=43,100 m³ 外</p> <p>○災害関連緊急地すべり対策事業（福島県）L=300m、C=252,480 千円、排土工：V=31,800 m³ 外</p>					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-4-1
事業名	災害公営住宅整備事業（葉ノ木平）
交付団体	白河市
基幹事業との関連性	
<p>当地域は、津波被害を除き県内最大の人的被害が発生した地域であり、住宅を失った当地区住民や市内全域を対象とした被災者、避難者に対し災害公営住宅を建設し提供する。</p> <p>当該地区には、東日本大震災により被災した老朽化した市営住宅があり、現時点において全 25 戸中 24 戸が退去していることから、全戸（25 戸）を解体し、災害公営住宅の整備と被災者の生活再建を支援する。</p>	